員全体を代表として詞辭哀悼辭を述べるべき役目を愚問部に抱へて實行致して居りますから會員諸君の内にありました節には右の委員へ御通知を御願ひ致します。

愚問部專任　小板工場　湯淺三平
愚問委員　管棒工場　番所仁作
鑄造工場　毛利
鋼管工場　扇山
タルピン
工作工場　中北藤吉

會計報告

總收入の部

金貳百參拾四圓八拾錢　會費六ヶ月
金參百參拾四圓貳拾錢　寄附金
金壹圓拾錢　雜收入金
金百五拾圓　借入金
合計金高七百貳拾圓拾錢

支出の部

金五拾六圓七拾錢　圖書購入費
金參拾圓貳拾錢　講演會場費
金百〇五圓也　關西聯盟費
金參拾壹圓七拾錢　普選運動費
金參拾五圓八拾壹錢　諸印刷費
金貳拾圓九拾參錢　紙墨文具費
金拾七圓也　事務所費
金拾參圓貳拾貳錢　諸雜費
金百四拾五圓也　會旗及小旗新調費
金拾參圓五拾錢　高張及手提灯新調費
金百〇七圓也　會章新調費
金百圓也　借入金仕拂
合計金高六百七拾六圓〇七錢
差引殘金四拾四圓〇參錢
內金貳拾壹圓五拾錢　積立金

確に會計帳に控へてあります御用のお方は遠慮なく會計の元へ御越し下さい

會員諸君の努力に依りまして理想的な會旗灯提が出來ました有難く御禮申上ます

(4) 講演係より

去る三月卅日の委員會に於いて第壹回總會を衆議員總選擧後迄延期する事を決議されました而して總會は來る五月廿五日午后五時より鐵甲町大正座に於いて開催する事になりました總會閉會後は直ちに演說會に移ります。辨士は左の方々に依頼致しました

會員中　數名
友愛會第一支部幹事
鐵工組合　坂本幸三郎君
大朝記者　永松四郎君
友愛會關西聯合會　久留弘三君

每月の例會には熱誠なる諸君の多數御出席下さる事は實に本會の隆盛を示し居る事と深く確信する所であります。

が猶今總會は初めての事でもあり又半季に一回の事でありますから諸君も萬障お繰合されて御出席あらん事を熱希致します。

調査部より

進歩したる二十世紀の今日萬事研究解決せんと欲せば先づ第一に統計表が必要で有ります統計表を作成するには調査が行屆かねばなりません。本會も調査部を設け專ら政治經濟教育勞働社會等の問題其他あらゆる方面の事を調査し統計を作つて居ります。

從つて調査の範圍が擴ければそれだけ完全な統計表が出來ます。會員諸君に御心附の事が有れば何事に依らず係の委員の方迄御報告下さい。會員諸君が何邊研究するに統計表が必要の時は何時でも御覽に入れます故統計表に依つて相成可く研究せられん事を希望します

新進會文庫藏書目錄（五月十五日調）

◆思想の部　（自一號至二〇〇號）

（哲學宗教及び精神修養に關する一般の書）

書名	著者
靜思錄	南條博士
性格と哲學	桑木博士
社會主義になつた漱石の猫	遠藤寒水
向上の鐵槌	鈴木大拙
容貌と人格	篠原無然郎
現代倫理思潮	倫理研究會編
新自由主義	ウイルソン
日本の精華	科外教育叢書
タゴールの思想及宗教	江部鴨村
自由思想史	大住關風
世の中と修養	朝倉力藏

◆理論の部　（自二〇一號至五〇〇號）

（社會問題及勞働問題經濟に關する一般の書）

社會問題研究　十三冊	川上肇博士
勞働者の天下	堺利彥
勞働問題早わかり　二冊	鈴木文治
勞働經濟講話	
マルクス資本論解說	福田博士
勞働者崇拜論	高畠素之釋
國際勞働會議	賀川豐彥
勞働問題　二冊	西村健吉
能率增進法	吉岡淡水
世界勞働不安　三冊	エフィンシー調査會
勞働運動	鈴木文治
工場法釋義	久留弘三

實用船舶流鏢　蒸汽機關學
物理教科書
化學教科書
試金冶金便覽

◆雜書の部　（自八〇一號至一〇〇〇號）

（國語數學外國語歷史地理政治其他一般に關する書）

之れだけは心得置くべし	加藤美命
萬國歷史要領	伊藤銀月
智識の泉	
のらくら男	深尾かてい
代數學難問解義	松村定治郎
野人の聲	鵜崎鷺城
催眠術矯正癖自在	竹內柳三
代數學講義	
大要塞戰	
社會大事彙	
讀書法	
實業學校教科書　三冊	
奈翁傳　上下　二冊	
世の中と修養	
國家禁酒論　二冊	賀川豐彥
勞動問題と禁酒運動　二冊	島田三郎

◆雜誌　（自一〇〇〇以上）

太陽　五冊	解放　六冊
公論　一冊	改造　六冊
中央公論　八冊	社會改良　五冊
實業の日本　六冊	新組織　五冊
勞働世界　一冊	勞働と產業　五冊
現代工業　一冊	內外時論　四冊
先驅　一冊	新時代　二冊
雄辨　三冊	中外公論　一冊